

第1回小さな自然観察クラブ 春の健康の森を歩こう

5月14日（土）に今年度の小さな自然観察クラブ第1回「春の健康の森を歩こう」を開催しました。まずは博物館で開会式を行い、これからいっしょに活動する人たちと初めて顔を合わせて自己紹介をしました。

保護者の方に見送られて健康の森に到着。早速、探索開始です。キャンプサイト周辺には、オオバナノエンレイソウとニリンソウの群生があり、和菓子のパッケージのような風景だね〜と話す声も聞こえました。

池の中にはオオタニシやエゾサンショウウオの卵塊があり、樹木にはキツツキ類があけた穴、地表にはドングリが見られ、エンレイソウやエゾエンゴサク、エゾノリュウキンカなどの春に咲く花が満開でした。

森林浴の森から出逢いの森ではヤマシギやアカゲラ、オオルリ、ゴジュウカラなどのカラ類等、多くの野鳥が見られ、エゾリスも観察することができました。

パラパラと雨が降る時間帯もありカッパを着て観察を継続しましたが、ケガなく観察会を終えることができました。冬が明けて、緑が少しずつ増え、昆虫たちも活発になる名寄の自然。今後の活動でも、いろいろな自然に会いに行きましょう。



みなさん、はじめまして



きらきら池の中には何がいるかな？



エゾサンショウウオのたまご発見！

第2回小さな自然観察クラブ 士別の森探検！

6月12日（日）に第2回「士別の森探検！」を開催しました。名寄から士別まで観察会では初めて長時間バスに揺られてちょっとした遠足気分です。

士別市グリーンスポーツは、士別市博物館のとなりにあり遊歩道が整備され、キャンプやランニング、自然観察に適した屋外施設となっています。

今回のタイトルは「士別の森探検！」です。みんなが歩いたルートは遊歩道だけではなく、急な坂道や泥でぬかるんだ道、砂利道、クマイザサがしげる細い通路などなど…いつもより探検をしている気分になったのではないのでしょうか。

道中には、エゾサンショウウオの幼生やエゾアカガエルとそのオタマジャクシなどの生物がいました。エゾハルゼミのぬけがらも多く、エゾハルゼミのぬけがらキングを探せ！（ぬけがらを探ってきて大きさを競いました）が始まり、みんなで木の幹を見て探しました。一度見つけることが出来ると目が慣れてきて他にもどんどん見付き、計測が追い付かないほどぬけがらが集まって大盛り上がり◎

雨の心配がありましたが、体感温度もちょうどいい観察会となりました。来月はお楽しみの川釣り体験です。少しずつ暑くなりますが、名寄の夏を楽しみましょう！



これから森の奥に入ります！



セミのぬけがら測定中



エゾハルゼミとそのぬけがら



指導員さんに笹舟の作り方を
教えてもらいました

小さな自然観察クラブ 川釣り体験

7月9日（土）に第3回観察クラブ「川釣り体験」を開催しました。観察クラブでは人気の恒例行事で楽しみにしていた方もいたことでしょう。当日は晴天に恵まれて釣り体験をすることができました。

ピヤシリ川に着いたら、釣り竿とエサのイクラを受け取り、注意事項を聞いてから釣りを始めます。釣りをするのは初めて！というクラブ員が多く、釣り竿の扱いに最初はおっかなびっくりの様子でしたが、イクラを針につけるのも次第に慣れて一人でできるようになっていました。

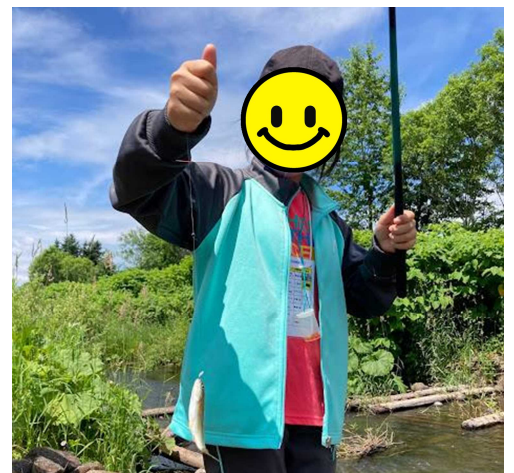
釣り糸をたらして数分、おっ！という声が上がリ、竿の先には魚が！釣れた～と嬉しげな声が聞こえてきました。それぞれの班で見られた魚の種類は違ったかもしれませんが、ヤマメやウグイ、カジカが釣れました。特にヤマメは市内の川で釣れる代表的な魚です。（ヤマメのことをヤマベと呼ぶ地域もあります）

今回、クラブ員が持ち帰らなかった魚たちは川に戻してあげることにしました。来年、大きくなったヤマメたちに会うことができるでしょう。

さて、今回の川釣り体験はみなさん楽しめましたか？これからレジャーの季節になりますが、川や海など水辺に近づくときは、ケガや事故にあわないように十分気をつけて楽しむようにしましょうね。



さあ、釣るぞ！



初めての魚ゲット



魚、釣れるかな～？



魚を釣って、みんなにっこり

小さな自然観察クラブ 智恵文沼でヒシの実を採って食べよう

9月10日（土）に第4回観察クラブ「智恵文沼でヒシの実を採って食べよう」を開催しました。

智恵文沼はもともと天塩川の一部でしたが、昭和12年に行われた治水工事によって切り離されて残った部分が三日月湖となりました。昭和30年頃からヒブナが釣れると話題になり、多くの釣り人が来るようになりました。渡りの途中に水鳥が訪れる場所でもあります。

今回は沼一面に生えている植物「ヒシ」の実を採取しました。アイヌの人たちには、非常に重要な食料で、収穫期が来ると舟に乗って採りに行ったと記録が残っています。ヒシの実を熊手でたぐりよせ、実を採って水ですすぎ、20分ほどゆでます。ゆで上がるまでの時間は、周辺で野鳥の観察をしたり、昆虫採集をしました。数多くのトンボやチョウチョ、鳴く虫たちで賑わう草むらに、「捕れたよ!」「これなんだろう?」とクラブ員の楽しそうな声が響いていました。

ゆであがったヒシの実は硬い殻をむいて、中の白い実をいただきます。お味はいかがでしたか?美味しい!豆っぽい!ジャガイモっぽい!自分はもういらなかな~など、色々な感想を聞けました。次回は10月、樹々の葉も色づき、実りの秋がやってきます。何か美味しいものを食べられるかな?来月もお楽しみに!



実を採っています!



採ったヒシの実の泥を落とします



手に持っているのがヒシの実です



たくさん虫採りしました

小さな自然観察クラブ 健康の森で秋を探そう

10月8日(土)に第5回小さな観察クラブ「健康の森で秋を探そう」を開催しました。

今回はバスに乗り込む前に、博物館前のコクワを観察し果実を試食してから健康の森へ出発しました。健康の森では、自然観察と来月の工作で使う木の実、落ち葉などの材料を探しました。

健康の森にはさまざまな種類の樹木(ミズナラ、ホオノキ、カツラ、オニグルミ、ナナカマド、トドマツなど)があり、秋になるとマツボックリやドングリ、高揚した落ち葉などが見られ、秋は多くの色の材料集めることができる季節です。

散策前に、博物館職員が健康の森で拾った物で試作したフォトフレームやドングリのチャームなどの工作を紹介してから材料探しを始めました。こんな枝が欲しい、マツボックリとドングリが欲しいなど、これから作る物を思い浮かべながら、それぞれ枝や葉、木の実などを拾い集めて、沢山集まったよ〜と材料を入れた袋を見せてくれる子もいました。

来月は皆さんがここで集めた素材を使ってどんな物を作るか、アイデア作品を楽しみにしています。また来月お会いしましょう。



コクワの実、見つけた！



赤い実があるよ



オオウバユリの種まき



ホオノキの葉、くださいな

第6回 小さな自然観察クラブ

ものづくり体験

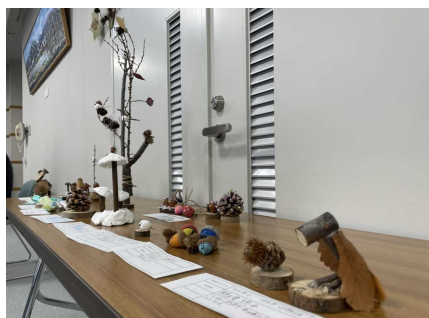
11月12日（土）に第6回小さな観察クラブ「ものづくり体験^{かいさい}」を開催しました。これまでは屋外での活動でしたが、今からは室内でのイベントとなります。

今回は、10月に健康の森で拾った落ち葉や木の枝、木の実などを使ってクラフト工作を行いました。それぞれが作業を始めると、どんなものを作ろうかと悩んだり、「前は思い浮かんでたのに1か月経ったら忘れちゃった〜」と話す子、もくもくと作り始める子、「こんなの作りたいけどどうしたらいいかな?」とスタッフに相談する子など様々な様子が見られました。作業時間はたっぷりあったので、じっくりと1つの作品に手をかける子やお友達の作業の様子を見に行き相談し合ったりと、ふだんの観察会では見られない姿を見ることができました。

作業の時間が終わりに差しかかった頃に、シマエナガブームが訪れました。紙粘土を小さく丸めて目と尾・くちばしを付けるという簡単な手順もあってか、作り始める子が急増！たくさんのシマエナガが出来ました。

指導員さんが作った作品に、クラブ員が作ったシマエナガを乗せて、素敵な合作が出来上がりました。この作品は、現在開催中のミニ企画展「シマエナガ」に併せて、作品展示をさせて頂くことにしました。ありがとうございます。

さて、次回の12月「キャンドル作り」が小さな自然観察クラブの今年度最後の活動となります。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。



←作品が沢山出来ました！

クラブ員+指導員合作！→



作業開始。さあ何を作ろうかな？



指導員さんと一緒に作品作り



紙粘土シマエナガ作成中



第7回 小さな自然観察クラブ

キャンドル作り

12月10日(土)に第7回かいさい小さな観察クラブ「キャンドル作り」を開催しました。

キャンドル作りは、お湯を張ったなべにアルミ容器を浮かべ、くだいたろうそくを溶かします。そこに細かく削ったクレヨン混ぜて色をつけます。

ろうを型に流し入れたら雪を入れたバットに置き、冷えて固まるのを待ちます。

さて、自然観察クラブでは、12月恒例の行事となっているキャンドル作りですが、4年生は初めて挑戦する！というクラブ員も多く、こういうのを作ってみたいな、色はコレとアレと混ぜてみようかなあ、と語る子もいました。

ろうを溶かし、型に入れ冷やす手順に慣れてくると、キャンドルが固まる時間よりも溶かしたろうに色付けをする作業がどんどん早くなり、待ちきれない様子のクラブ員もチラホラ。ほかの子が作っているキャンドルを見にいたり、次に作るものの用意をしたりと、にぎやかに過ごす子どもたちの姿が見られました。

水風船にろうをつけてキャンドルの器にするものや、お菓子に見間違えてしまいそうな色のドーナツ形のキャンドルなど…アイデアがあふれた物も多く、色とりどりユニークなキャンドルが机にたくさん並びました。

今回が最後の小さな自然観察クラブ活動だったので、キャンドル作りの最後に、5月からの活動のライド写真を見て、活動を振り返りました。

皆さん、また参加してくださいね☆



ろうそくを入れて溶けるのを待ちます



ペンチで容器をうまくつかんで…



水風船にろうをつけて器にします

第8回 小さな自然観察クラブ

思い出パネルを作ろう

1月7日（金）に第8回小さな自然観察クラブ「思い出パネルを作ろう」を開催しました。

小さな自然観察クラブが始まってから初めての思い出パネルづくり。どんなことがあったのか振り返りの動画を見てもらいながら、各月の観察会で何をしたのかを少しずつ思い出して、思い出パネルになる模造紙に書き込みを始めます。

決まった形式がなく、自由に作ってみましょうと説明したので、何をしたらいいのかと悩んでるクラブ員もいたかもしれませんが、時間が経つにつれて、字をマスキングテープでふちどったり、各回での写真を切り取って貼り付けたり、絵を描いたり、素敵な思い出パネルができあがりました。

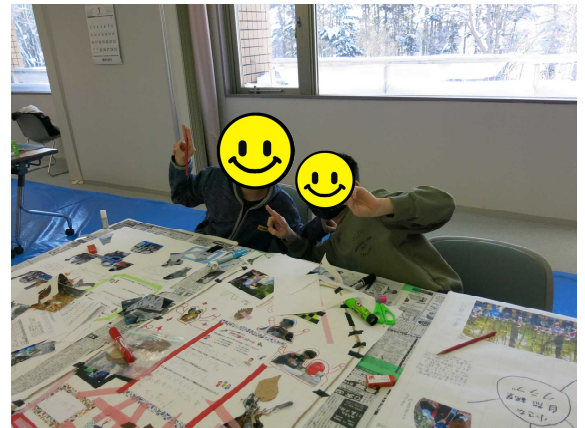
今回作成した思い出パネルは、1月21日（金）から2月15日（火）まで企画展「小さな自然観察クラブ活動報告展」にて、活動中に撮影した写真とともに展示させていただきます。都合のいい期間中に、ぜひ見に来てくださいね。

さて、今回のイベントが小さな自然観察クラブの最後となりました。5月からを振り返ってみて、活動はどうでしたか？皆さんにはアンケートを配布しているので、感想を聞かせてもらえると嬉しいです。

4・5年生のクラブ員さんは来年もご参加お待ちしております。また会いましょう！



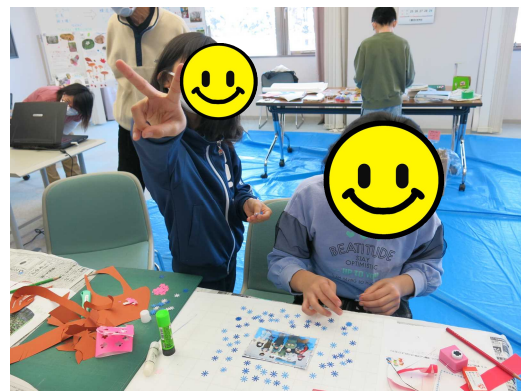
なにがあったか振り返ろう🍷



完成間近かな？はい、チーズ★



次はどうする？



頑張ってるぞ〜